

万年願・北原人形芝居（県指定無形民俗文化財）

原田神社（大字北原）の祭礼・万年願で、県指定無形民俗文化財である「北原人形芝居」が、奉納されます。また今年も、奉納終了後に参拝客に向けて餅まきを行います。

- 日時 平成31年2月3日（日）12時30分～15時30分ごろ
- 会場 原田神社（中津市大字北原）

1. 北原人形芝居の始まり

鎌倉時代、北条時頼が、諸国巡歴の途中、この地で病に倒れた時、村人の献身的な看護で回復しました。全快祝いの席で、村人が手の甲に目鼻を書き、袖口からそれをのぞかせて余興としたのが、人形芝居の始まりと言われる非常に古い芸能です。

江戸時代に狂言や浄瑠璃が取り入れられ、現在の形式となりました。当日は、翁渡をはじめ全部で6幕が奉納される予定です。

2. 三保小学校での活動

現在この伝統芸能を支えているのは、北原人形芝居保存会や三保小学校人形クラブです。この伝統芸能を継承しようと、三保小学校のメンバーが練習に励んでいます。三保小学校人形劇クラブの児童は、「傾城阿波鳴門 巡礼歌の段」を上演します。

3. 一人で人形を操る「はさみ遣い」

人形芝居の基本は、浄瑠璃に乗せて、頭と右手の担当、左手の担当、足の担当の3人1組で一体の人形を操る三人遣いですが、2001年に、足の指で人形のかかとを挟んで1人で操演する「挟み遣い」が復活しました。「挟み遣い」は全国でも北原人形芝居にのみ伝わる独特の操演法です。



挟み遣いの演目「日高川安珍清姫」



「日高川入相花王」の一場面

【問合先】中津市教育委員会
社会教育課文化財室 担当：曾我
(TEL：0979-22-1111・内線602)